

日本システム技術、東京大学との医療ビッグデータを活用した産学共同研究を開始

2017/5/25 17:30 | 日本経済新聞 電子版

発表日：2017年5月25日

東京大学との医療ビッグデータを活用した産学共同研究開始に関するお知らせ

当社は、国立大学法人東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学 田倉 智之 特任教授の研究グループとの間において、当社が蓄積している100万人にのぼる医療ビッグデータを活用した共同研究を開始したことを、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 目的及び内容

当社は、長年培った広範なICTを駆使し、医療機関が保険者に月単位で請求する医療費の明細書である「診療報酬明細書」と「調剤報酬明細書」(以下、あわせて「レセプト」という。)を高速かつ自動的に点検・分析するシステム(以下、「JMICS」という。)を開発し、平成22年8月よりサービス開始いたしました。また当社は、JMICSを核として、健診データ等外部データの取り込みや各種分析・通知サービスなどのソリューションを拡充し、平成25年4月より医療保険分野におけるビッグデータ事業を推進しております。

本共同研究では、東京大学 大学院医学系研究科 医療経済政策学 田倉 智之 特任教授協力のもと、JMICSに蓄積された100万人にのぼるレセプトデータを活用し、医療費適正化と国民の健康福祉の向上のため、医療費増加要因の解明に向けた研究を行います。なお、本共同研究に使用するデータは、レセプトデータから個人情報に当たる部分を取り除いた研究用データであり、利用に関しては保険者(健康保険組合、自治体)から許諾を得ております。

本共同研究における第一段階として、具体的には、透析導入に伴う公的助成制度による経済負担の軽減や生活指導などの介入が受療行動や診療構造にどのような影響を与えるのか、行動経済学の観点から解析を行う研究を実施します。また、本研究により有用性が認められた成果については、それらを具体化・実施する為のシステム開発も視野に入れており、当社から保険者およびヘルスケア関連企業へ当該シ

システムを提供することで、各種医療保険制度における保険者の医療費適正化促進を目指します。

なお、本共同研究では、JMICS利用事業者である株式会社メディブレーション（本社：大阪市中央区 代表取締役：中 隆廣）ともデータ提供等にて協力し研究にあたります。

※リリースの詳細は添付の関連資料を参照

◆当社システムサービスの名称

商標名：JMICS（ジェイミクス/JAST Medical Insurance Checking System）サービス

日本語名称：JAST医療保険点検分析システム・サービス

JAST：[日本システム技術株式会社](#)の略称

以上

リリース本文中の「関連資料」は、こちらのURLからご覧ください。

リリースの詳細

http://release.nikkei.co.jp/attach_file/0446178_01.pdf

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.